

20097

当院の経カテーテル大動脈弁置換術における取り組み

¹ 亀田総合病院

岩上 亜矢¹、吉田 弘樹¹、小野 雄一朗¹、八巻 伸¹

【背景・目的】 現在当院では経カテーテル大動脈弁置換術（以下、TAVI）認定施設取得に向け指導医の監督下で TAVI を施行している。ハートチームは、医師はじめ総勢 52 名で構成され、そのうち診療放射線技師（以下、技師）は 4 名所属している。主な担当業務は、CT の撮影と、放射線機器や造影剤注入器等の操作や術後画像、被ばく管理である。今回 TAVI 導入から現在まで技師としての取り組みを報告する。【方法】 ハートチームにおける放射線技師の業務や組織体制の観点から、現在の取り組みと今後の課題についてまとめた。【結果】 ハートチームによる情報の共有化を図った。特に緊急対応訓練やシミュレーションを行い各職種における役割を細分化したことで、役割が明確になった。【考察】 安全に TAVI を施行するためには手術室の環境整備、術前 CT 検査など常に検討する事が重要であり、チーム連携を図るためにも定期的なシミュレーションの開催も常に必要と考える。【結論】 今回、技師の立場から取り組みを報告した。今後も TAVI の安定稼働に向け、更なる環境整備、術前 CT 検査など、ハートチームの一員として貢献していきたいと考える。情報の共有を図ることが非常に重要だと考える。